

渋沢栄一賞に中村氏

戸田中央医科グループ会長

県は10日、優れた経営や地域、社会へ貢献した全国の企業経営者を表彰する「渋沢栄一賞」に戸田中央医科グループ(戸田市)の中村隆俊会長



中村隆俊 会長
(県提供)

ら3氏を決定したと発表した。表彰式は2月14日に開催される。

受賞者はほかに、金属表面処理などを行う日本パーカラ イジング(東京都中央区)の里見菊雄名誉会長と、レンコン加工品製造業のマルハ物産(徳島県松茂町)の林香与子会長。

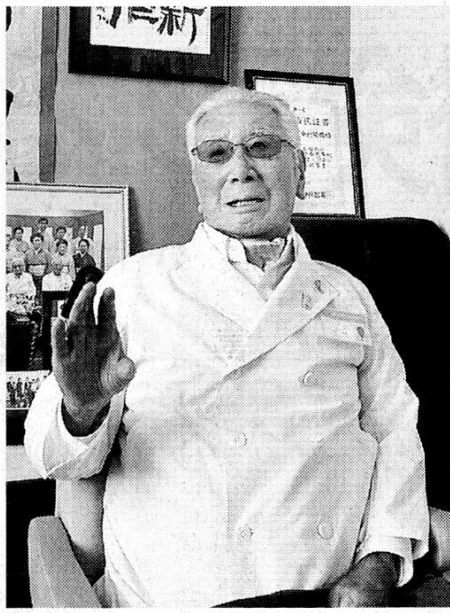
戸田中央医科グループの中村会長は、1962年の創業以来、1都4県に114カ所の関連事業所を展開し、国内最大級の医療グループに成長させた。腎センターや全国初の嗜好(しこう)品外来など、特徴のある専門科を多く持つ。2007年からは戸田市と協力し、乳がん検診率を5%から52.7%に引き上げた。

渋沢栄一賞

「地域のため頑張る」

戸田中央医科の中村さん

渋沢栄一賞の受賞が決まった戸田中央医科グループ会長の中村隆俊さん(89)は10日午後、自身が経営する戸田市本町の戸田中央総合病院で「大変つれい。身に余る光栄。これからも老骨にむち打って地域のために頑張ります」と



「老骨にむち打って地域のために頑張る」と受賞の喜びを語る中村隆俊さん。10日午後、戸田市の戸田中央総合病院。

力強く語った。院内の廊下で、歩行器を使って往復約50分を歩くリハビリを終え、元気いっばいの表情だった。リハビリでは歌うことも多く、この日は母校・北大の寮歌「都ぞ弥生」のCDを聞きながら歌った。

加する運動に育てた。これが受診率で県内トップクラスの52.7%達成につながった。50年に北大を卒業後に上京。青年医師時代、兄の故哲夫さん(板橋中央医科グループ会長)、弟の秀夫さん(上尾中央医科グループ会長)の兄弟3人で、当時小学5年生だった美空ひばりさんが中学を卒業するまで家庭教師を務めた。「兄弟でひばりを守った。でも、彼女の初恋の相手は私だ。アイススケートも私が教えた」が自慢の種。座右の銘は「生涯現役」。同時に「生涯独身」とも言い、若い看護師たちの笑いを誘っている(1面参照)。

「人の世の清き国ぞとあがれぬ」。最後はじつと聞き入っていたが「クラーク博士の少年よ大志を抱け、の後があるのを知っていますか」と言っ。「ライク、ジス、オールドマン。私のような年寄りのことへ、と言ったんだ」と笑顔になった。

1962年、戸田市で20床で開業して以来、救急搬送を率先して受け入れるなど地域活動に貢献してきた。会長も務めた戸田ロータリークラブが74年から続ける同病院での夏の献血活動は、これまでに献血者が1万5千人に上り、毎回県内トップの献血量だ。2007年から戸田市と協働して取り組む乳がん撲滅のピンクリボン運動では、若い医師や職員ら病院をあげて参

